# 島原鉄道沿線地域公共交通活性化協議会　平成 21 年 2 月 17 日設置

## 概　要

島原鉄道は、地域公共交通の中軸であり、島原半島の動脈として沿線自治体の多くの住民が通勤や通学、通院を含め利用しており、今後も重要な生活基盤になるものと思われるが、昨今、自家用自動車の普及の進展や少子高齢化による人口減少により、その運営は大変厳しい状況となっていることから、生活交通の確保はもちろん複数の公共交通機関が連携し、観光や産業の振興につながるような公共交通体系の構築に向け、鉄道の利便性向上方策の調査、利用者等のアンケート調査などを行い、沿線自治体における総合的かつ効率的な交通体系の構築・活性化を図る。

### ○地域公共交通の現況

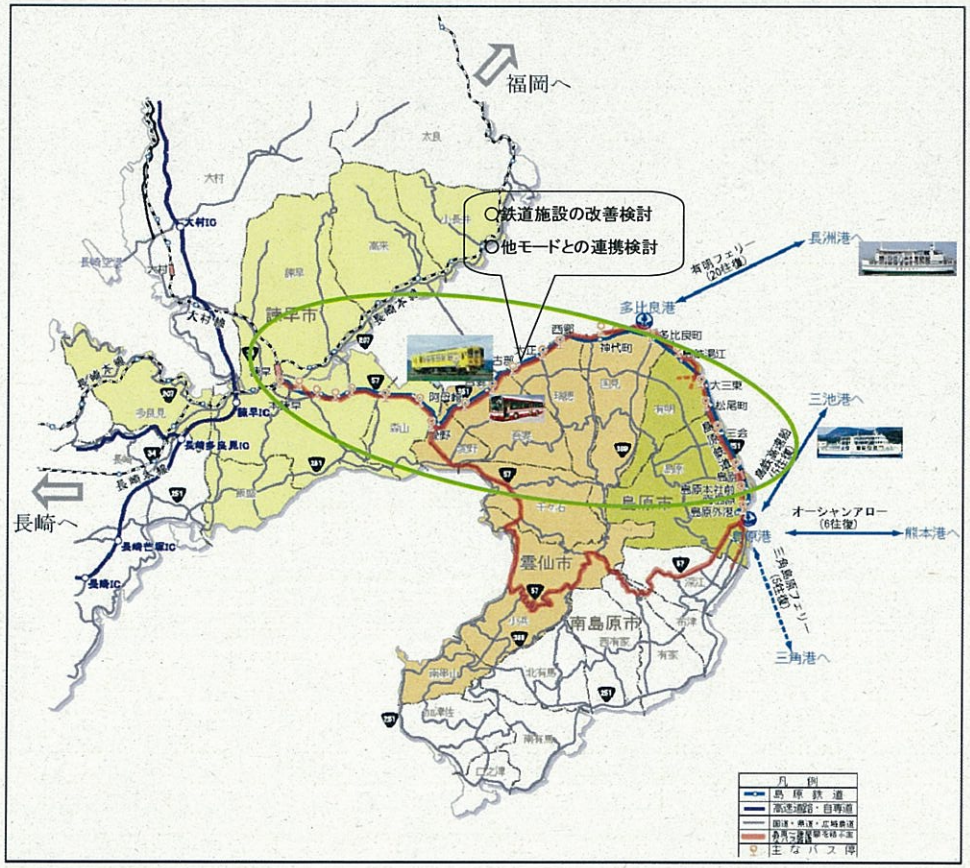
- 島原鉄道(駅：24駅)
- 県営バス、島鉄バス
- フェリー(航路数：4航路)

### ○地域公共交通の課題

- 地域の少子高齢化の進行に伴う公共交通利用者の減
- モード間の乗継が不便
- 競合するバス路線が併存

### ○調査の主な内容

- 島原鉄道、沿線地域の現状分析
- ニーズ把握調査(利用者、沿線住民アンケート調査)
- 利用促進策の検討

### ○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- 鉄道施設の改善検討
- 他モードとの連携検討
- 観光、イベントと連携した運行検討